

一人一人の自立と社会参加をめざす一貫性・継続性のある指導
～生活単元学習・作業学習の授業実践を通して（3年次）～

1年次
研究

- アセスメントの方法を学ぶことができた。
- 複数の視点で授業づくりを行うことができた。
- △ チェックリストの客観性、
- △ 指導計画やアセスメントの在り方
- △ キャリア教育への意識

これまでの
研究

ワークショップ型の
授業検討会

2年次
研究

チェックリスト

- ・ 判断基準の客観性（具体化）
- ・ チェックリストの手引き（活用方法）作成
- ・ チェックリストの様式検討

年間指導計画

- ・ 年間指導計画の継続性の見直しと改善（小→中→高の継続性）
- ・ 単元、題材一覧表の作成
- ・ 中等教育の充実

キャリア教育

- ・ 社会参加と自立に必要な能力の洗い出し（伝えるキーワード）
- ・ 段階で習得させたい力の明確化と学部目標との関連性と継続性

アセスメント

- ・ H26 年度研究の深化
- ・ 他学部の職員を交えた分析（解釈）
- ・ 研究授業、授業検討会をととした授業力向上

主題設定
の理由

- 1 学校教育目標、めざす児童生徒像から
- 2 学校経営方針の重点取組事項から
- 3 各学部の教育目標から
- 4 特別支援教育に関する動向から
- 5 昨年度までの研究から

仮説

○個別の教育的ニーズのある児童生徒に対する、一貫性・継続性のある指導において、再検討を行ったチェックリストやアセスメントの方法を用いることで、客観性のある生徒の実態把握ができるのではないか。

○学部共通の単元指導計画に記載されたねらいの要点をもとに授業づくりを行うことで一貫性・継続性のある指導ができ、更にキャリア教育の視点を取り入れた指導を行うことで、児童生徒の自立と社会参加を目指す指導ができるのではないか。

○生徒の実態を基にした授業づくりをチームで行うことで全員の PDCA サイクルへの意識が高まるのではないか。

研究の
方法

授業実践を重点取組とする！！

授業づくりの視点「授業実践で工夫したポイント」検証授業：生活単元学習

- 1 対象となる児童生徒を『別冊資料集』のチェックリスト・アセスメントの項を参考に分析し、まとめる。
- 2 1でまとめた分析結果と『別冊資料集』の単元指導計画・キャリア教育の項を参考に授業を作り、指導案の検討を行う。
- 3 授業実践&授業検討会【かごしま学力向上プログラムにおける授業公開】
- 4 『別冊資料集』の活用における成果と課題をまとめる。
- 5 主テーマにおける研究のまとめを行い、紀要を発行する。

検証方法

- ・ 学部毎による授業検討チームの編成
- ・ 学力向上プログラムにおける授業公開の実施（参観者からの意見集約と成果を形として残し、児童生徒へ還元）